

# みんなの南アルプス

発行 南アルプスを未来につなぐ会 電話 054-221-2963 (事務局)



南アルプス写真・動画コンクール準特選入賞 春の足音(c)守谷恵介

## 第10号発行

静岡市ではサクラ（ソメイヨシノ）の開花が宣言されました。

春の訪れを告げるサクラの開花宣言は1ヶ月程度で、日本列島を南から北に向かって進んでいきますが、南アルプスでは山麓から山頂に向かって春が駆け上がっていきます。

南アルプスの高標高部ではまだ積雪がある状況ですが、雪が解けて、山域での活動をしやすくなるのを待ち遠しく思います。

さて、第10号では、南アルプスがユネスコエコパークに登録されて10周年となることを記念してつなぐ会などが開催したシンポジウム、写真・動画コンクールの結果、南アルプスの山麓地域の若者の交流を目的とした会議や高山帯における昆虫等の調査等についてご紹介します。

## ユネスコエコパーク登録10周年記念シンポジウムの開催

令和7年3月8日（土）から9日（日）にかけて、静岡市内のコンベンション施設を会場に、県（ふじのくに地球環境史ミュージアム、自然保護課）、南アルプスを未来につなぐ会、南アルプス学会が共催し、それぞれがオムニバス形式でシンポジウム等を実施しました。

全体をとおしてのシンポジウムのテーマは「南アルプスの人々の暮らしと自然を次の世代に」です。

### 南アルプスを未来につなぐ会 主催シンポジウム

3月8日（土）午前のセッションでは、「地域の魅力を生かす未来の取組を語る～南アルプスユネスコエコパークの次の10年に向けて～」をテーマに、本会主催のシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、横浜国立大学上席特別教授で本会理事の松田裕之様、(株)エーゼログループ代表取締役CEOの牧大介様、(一財)私立新留小学校設立準備財団共同代表の古川理沙様に話題提供の発表をしていただきました。

その後、山極壽一会長をコーディネーターとして、発表いただいた3人をパネリストとしてパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

松田様からは、自然も地域の人々の暮らしも守るのがエコパークであり、地元の工夫で自然資源を守り地元のために活用してほしいとの話がありました。

牧様からは、これまで色々な地域で小さなチャレンジを重ねてきたことや地域と地域が学び合うことが大切といった話がありました。

古川様からは、外からスーパーマンを連れてくるより、地域の人達が良いものを作っていくことが強みになるとの話がありました。

また、山極会長からは、地域のつながりで伝統と文化を守り、南アルプスが世界最高のユネスコエコパークになることが将来目標になるといいとのまとめがありました。

シンポジウムの様子は、静岡県のYouTubeアカウント「みんなの南アルプス」で配信しています。当日ご参加いただけなかった方も、動画でお楽しみいただければ幸いです。（右のQRコード）



## 南アルプス写真・動画コンクール 表彰式・記念講演会

3月8日（土）お昼のセッションでは、県（自然保護課）主催による「静岡県南アルプス写真・動画コンクール」の表彰式・記念講演会を開催しました。

本コンクールでは、険しい高山帯から、麓の暮らしや文化に至るまでバラエティ豊かな力作が多数応募されました。厳正なる審査の結果、このたび34点の入賞作品を選定しました。



入賞者挨拶をする伊賀さん

表彰式では、特選（静岡県知事賞）をはじめとした、上位入賞者に対し表彰状の授与をいたしました。

写真部門特選に入賞された伊賀さん（島田市）からは、「これからも南アルプスを源流とする大井川の魅力を撮り続けていきたい」という力強い思いの籠もったお言葉をいただきました。

改めて、入賞された皆様にお祝い申し上げます。



西田委員長による講演

引き続き、審査委員長を務めていただいた、山岳写真家の西田省三様からコンクール全体の講評に加えて、「実は登れる南アルプス」を演題にご講演をいただきました。

北アルプスの上高地と比較したアクセス時間や、荷物の軽量化、鳥森山などのおすすめ撮影ポイントについて語っていただき、活発な質疑応答を交えながら大いに盛り上がる講演会となりました。

西田委員長の講演は、県のYouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」で配信しています。当日ご参加いただけなかった方や、もう一度聞きたい方は是非ご視聴ください。

YouTube ch「みんなの南アルプス」 ▶



本コンクールの全ての入賞作品をとりまとめた作品集（電子書籍）をWEB上で公開しています。素晴らしい作品に加え、各審査委員による選評や県の取組を是非ご覧ください。

県は、本作品集を静岡県域の南アルプスのPRに最大限活用してまいります。

静岡e-books「未来に引き継ぎたい南アルプス」 ▶



# 南アルプス写真・動画コンクール 入選作品の紹介

～たくさんの応募ありがとうございました～

【応募総数】 全417点（写真部門165点・動画部門20点・Instagram部門232点）

【入賞作品数】 全34作品（県入賞作品23作品・協賛者特別賞11作品）

## 【写真部門】

区分	作品タイトル	撮影地	入賞者	
			氏名	居住地
特選 (県知事賞)	川面の夜明け	南アルプス井川オートキャンプ場	伊賀 誠	島田市
準特選	鹿ん舞躍動	駿河徳山駅	小沢 大介	藤枝市
	雲外蒼天	イザルガ岳周辺	吉田 浩章	和歌山県岩出市
	春の足音	川根本町元藤川地区	守谷 恵介	静岡市清水区
審査委員長特別賞	塩見岳	三伏山周辺	梶田 宙暉	静岡市駿河区
入選	中岳避難小屋と夏の星空	中岳避難小屋	sunsunfine	東京都北区
	山並みの向こうに	小河内岳周辺	稲垣 健一	愛知県名古屋市長
	アーベント小策	策ヶ岳山頂	とっくん	御前崎市
	秋散歩	畑薙大吊橋	手塚 光次	掛川市
	単線が通るのどかな農村	駿河徳山駅付近	小西 直昭	埼玉県川口市

## 【動画部門】

区分	題名	撮影地	入賞者	
			氏名	居住地
特選 (県知事賞)	井川マウンテンマラソン2024 KOHANコースを走ってきました。	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターほか	匿名希望	
準特選	道しるべ	井川湖畔遊歩道ほか	山下 順平	静岡市葵区
審査委員長特別賞	【南アルプス】友達と楽しむ寸又峡vlog【前編】	寸又峡温泉	匿名希望	
入選	井川線の桜2024	大井川鐵道井川線沿線	森 信二	川根本町
	青春の叫び	山伏付近	鈴木 千優	静岡市清水区
	蒼いカレーはどこで食べられるの？	奥大井湖上駅	石川 由実	静岡市駿河区
	水と緑の寸又峡温泉	寸又峡温泉	永田 雅一	富士宮市
	新緑の畑薙大吊り橋を渡り撮り	畑薙大吊橋	森 信二	川根本町

## 【Instagram部門】

区分	撮影地	入賞者
入選	井川湖周辺	tsykit
	山伏山頂	j_ish_ma
	赤石岳避難小屋	清水明 赤石岳避難小屋管理人
	奥大井湖上駅	koji_o_0228
	聖岳周辺	mt. ikkyu_2857

## 南アルプス学会主催のシンポジウム、研究助成の成果発表

3月8日（土）午後のセッションでは「南アルプスの次世代に残したい人々の暮らし」を、3月9日（日）午前のセッションでは「南アルプスの次世代に残したい自然」をテーマとして、南アルプス学会主催のシンポジウムが開催されました。



「南アルプスの次世代に残したい人々の暮らし」  
質疑応答の様子

「南アルプスの次世代に残したい人々の暮らし」では、京都大学の張曼青特定助教から「南アルプス農山村地域の生業変容を生きる女性たちのライフストーリー」を、常葉大学の外立ますみ講師から「井川民具のみどころ～山に暮らす人々の体験と知恵について」を、（一社）ほらじゅうの上原佑貴代表理事から「焼畑文化プロジェクト～早川町奈良田における実践的取り組み～」をテーマに講演をいただきました。

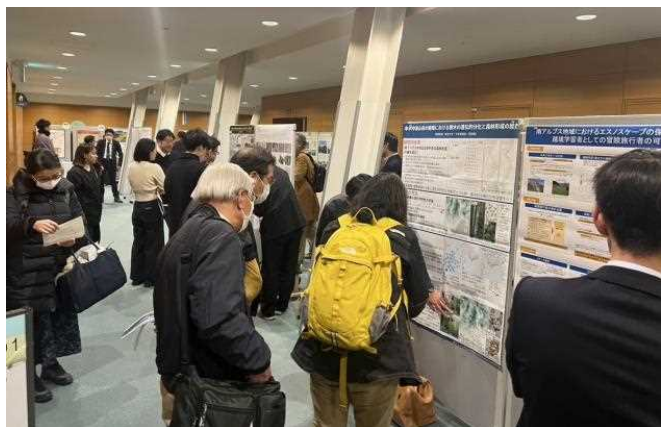


鵜飼一博准教授の講演の様子

「南アルプスの次世代に残したい人々の自然」では、信州大学の東城幸治教授から「南アルプス山岳形成史と動植物の遺伝構造・分子系統地理的研究」を、飯田市美術博物館の四方圭一郎学芸員から「南アルプスにおける高山蛾調査と生息地の状況」を、静岡県立農林環境専門職大学の鵜飼一博准教授から「南アルプス高山帯・亜高山帯の植生の現状と保全」をテーマに講演をいただきました。

また、3月9日（日）のお昼には、令和5～6年度に南アルプス学会の研究助成制度の採択者によるポスターセッションを実施しました。

南アルプスに残る文化や自然環境に関する発表と、研究成果を示す展示に対して、活発な質疑が行われました。



ポスターセッションの様子

各講演の抄録集はこちらをご覧ください ▶

<https://www.fujimu100.jp/event/12246/>



# 地球環境史ミュージアム主催の国際シンポジウム

2日間をとおして最後となる、3月9日（日）午後のセッションでは、「次世代に残したいユネスコエコパーク」をテーマに、ふじのくに地球環境史ミュージアム主催のシンポジウムが開催されました。



国内外から迎えた5人のトークゲストから、各地のユネスコエコパークのこれまでの取組やこれからの展望などのお話をいただきました。

イギリスからお招きした、マーティン教授からは、特に山岳域エコパークについて世界的観点から特徴や魅力の紹介、情報の共有・協力についてのお話がありました。

## 【トークゲスト/テーマ】

- ・ プライス・マーティン（ハイランズ&アイランズ大学）  
「山岳域のユネスコエコパーク：変わりゆく世界の中での課題と機運」
- ・ 田中俊徳（九州大学准教授・日本MAB国内委員会委員）  
「ユネスコエコパークの歴史的意義と国内外における取組、未来の展望」
- ・ 石田智（静岡市環境共生課エコパーク推進担当課長）  
「静岡市の南アルプスユネスコエコパークの取組」
- ・ ママードゥア・アイダ（金沢大学准教授・白山エコパーク協議会委員）  
「持続可能な開発のための世代間学習：日本と海外のユネスコ生物圏保護区における事例」
- ・ 河野円樹（綾町ユネスコエコパーク推進室係長）  
「綾ユネスコエコパークの10年の歩みと今後の展望」



シンポジウムの最後には、本会副会長である佐藤洋一郎ふじのくに地球環境史ミュージアム館長がコーディネーターを務めた総合質疑が行われました。会場からの質問を交えながら、トークゲストを中心に南アルプスをはじめ日本のエコパークの未来について、今後の期待や展望に関する活発な議論がなされました。

各講演の抄録集はこちらをご覧ください ▶ <https://www.fujimu100.jp/event/12246/>



## 第1回いかわね会議の開催

令和7年1月16日、17日の1泊2日でウッドハウスおろくぼ(川根本町)にて「いかわね会議」を開催しました。「いかわね会議」は、静岡市井川地区と川根本町=いかわね地域の若者(と行政職員)同士の交流の機会創出と、未来に向けたチャレンジの共有を目的に、南アルプスを未来につなぐ会が企画し、南アルプスみらい財団が運営を担いました。



未来を描くワークショップ

ゲストには、持続可能な地域づくりの先駆者、古川理沙さん、牧大介さんのお二人をお招きしました。

地域からは、井川地区9名、川根本町13名、行政機関・企業7名の合計29名の皆様に参画いただきました。

描いた未来像やチャレンジは、いかわね地図にマッピングして参加者全員で共有しました。一人ひとりが描く未来にたくさんの共鳴・共感が生まれたように感じています。

会議後、SNSにグループが立ち上がったたり、企画案ができたたりと、未来につながるコミュニティやチャレンジの火を灯すことができました。

今後、「いかわね会議」を継続・発展させるとともに、協働で実施するチャレンジへの着手も考えていきたいと思えます。

## 高山帯における昆虫等の調査

静岡県域における南アルプスの高山帯は、とりわけ急峻でアクセスが困難な地域であり、自然環境について十分な調査や研究が行われてきませんでした。県は、研究者との協働により、特に調査されてこなかった昆虫やクモを主な対象とした調査を実施しました。

調査は令和3年度から静岡県内の南アルプスを3つのエリアに分け、毎年1エリアずつ調査を行いました。そのうち、1つのエリアでは、新種発見の可能性があったため、令和6年度に追加調査を行っています。

調査の結果、約50年前に採集されて以来、情報がなかった幻の高山蛾「キタダケヨトウ」や、新種の可能性があるハエやクモの仲間の発見など、4年間の調査で多くの成果が得られています。



夜行性昆虫の調査



幻の高山蛾「キタダケヨトウ」

## シリーズ企画：南アルプス探訪

第2号から始まりましたシリーズ『南アルプス探訪』。第9回目となる今回も、前回に引続き『南アルプスで見られる様々な地形』についてご紹介します。

### テーマ：大井川上流域における地質と地形の成り立ち (第10回：南アルプスで見られる様々な地形2)

#### 赤石岳(標高3120m) 周氷河作用

赤石岳の標高は3120mで、南アルプス南部の主峰です。山頂部分の起伏は比較的低く、南アルプス南部の山岳景観が360度にわたって広がっています。赤石岳付近で転がっている大小の石は、主に周氷河作用によって造られました。

周氷河作用とは、周期的に水の凍結と融解を繰り返し、岩石の破碎や土壌の移動を引き起こす作用のことです。晩秋や春先の雪解け水や雨水が山体の割れ目等にしみ込み、夜間の気温低下に伴う凍結により水の体積が膨張し、岩石を周期的に砕きます。



(南アルプス学術総論、2010)

#### 伝付峠 標高1985m

静岡県と山梨県の県境に位置する伝付峠周辺では、長さ数百m、深さ数メートルの船の底状の線状凹地が数列並び、合流や分岐しながら尾根に沿って配列しています。

この凹地群は東西の最大幅100m程度で、全体的にはほぼ平坦な稜線を作っています。伝付峠周辺の尾根が、自重でつぶれていくような形態を持っています。

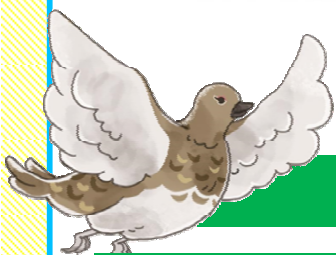


(撮影：諸橋良)



# 南アルプス環境保全基金について

美しい南アルプスを未来に引き継ぐため、南アルプス環境保全基金への寄附をお願いいたします。



## 基金を活用した静岡県の取組

### 生態系保全の取組

- ・ 高山植物を守る防鹿柵の設置
- ・ 高山植物種子保存プロジェクト
- ・ 高山帯における昆虫等の調査
- ・ 南アルプスの研究に対する支援



### 魅力発信の取組

- ・ YouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」
- ・ 環境学習サイト「南アルプスの宝箱」  
たからばこ



※寄附の詳細については、静岡県暮らし・環境部環境局自然保護課までお問い合わせください。

## 編集後記

静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課 南アルプス担当

今号の内容では、つなぐ会シンポジウムを担当しましたが、会場は盛況で、開催して良かったなと思いました。当日の様子は動画で公開していますので、来場できなかった方にもご覧いただければと思います。令和6年度は何回か業務で南アルプスに登る計画がありましたが、その度に天候不順や落石等の災害などで中止となり、1回も沼平ゲートを越えられなかったのが心残りです。私は異動せず、担当3年目となります。引き続き、静岡県域の南アルプスが皆様にとって身近になるよう取り組んでまいります。（高塚）

「いかわね会議」と「高山帯における昆虫等の調査」を担当した小松です。自然保護課には6年という長い在籍期間ですが、今回初めて編集後記を書きます。

今年度、初の試みとして開催した「いかわね会議」を通じて、南アルプスの麓地域のバイタリティある皆様の生の声を聴くことができました。自分にとっても、行政として、個人として、南アルプスのために何ができるかを真剣に考える機会となりました。

私は、この4月から異動となり、仕事として南アルプスに接する機会はほぼなくなります。在籍中、様々な形で南アルプスに触れ、また、多くの方々にお世話になりました。今後は、一個人として南アルプスに関わっていきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。（小松）

今号では、南アルプス探訪「南アルプスで見られる様々な地形2」を担当しました。自然保護課に在席したこの2年間で、何度か会報の執筆を担当させていただきました。初めて登った南アルプスでライチョウに出会えたこと、高山植物保全活動のボランティアの方々と一緒に美しい稜線を歩いたこと等、他の職場では経験できない貴重な経験をすることができました。この4月から異動することとなり、南アルプスの業務からは離れますが、南アルプスでの思い出を大切にしていきたいです。（野末）

南アルプス写真・動画コンクールを担当した西村です。多くの方の御協力のもとに、本コンクールが開催できたことに感謝しております。御後援、御協賛をいただいた企業、団体の皆様、力作を応募して下さった皆様、審査に携わっていただいた委員の皆様に改めて御礼を申し上げます。次回のコンクール開催が未定となっているのが残念ですが、引き続き、業務をとおして、南アルプスの魅力発信に取り組んでいきたいと思っております。（西村）

YouTubeで南アルプスの魅力を発信中！

○YouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」

